



そうふうPartⅡ 爽風 発行者：校長 下地美和子	学校教育目標 創造性にあふれた 心豊かでたくましく 生きる児童の育成 目指す児童像 ・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子 ・当たり前のことを一生懸命にやる子（凡事徹底）
★しんけんにもちあじいかしてじぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小	

下地こども園公開保育 校内研修にて

7月22日は、お隣のこども園で公開保育の研修会を行いました。幼小連携の一環として、下地小学校の職員が、こども園に赴き、子ども達の園での生活を見させて頂く研修会です。

まず、子ども達の遊ぶ様子を参観。子ども達は、それぞれ、水遊びをしたり、色水を作ったり、石けんを混ぜて泡を立てたり、それを固めたり、溶かしたりしながら、一つの遊びを色々な遊びに発展させていました。こども園では、先生が「今日はこれで遊びます。」と言う指示的なことは言いません。子ども達が自分で考え、試行錯誤し、「今日はこれをしてみたい。」という意欲を大切に、子ども達に判断させます。達に寄り添い、「どうなったの?」「どうしたら出来ると思う?」と子どもの思考を促すような声かけをします。そういう環境の中で、子ども達は、遊びを通していろいろな事を考え、やってみて学んでいました。



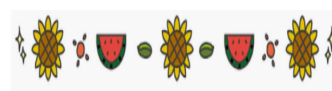
また校舎内外には、子ども達がすぐに活用できる様々な用具や道具が準備され、子ども達の思考の手助けをするよりよい環境が整えられていました。室内には、色紙や画用紙、色々な材料やのり、はさみが等使いやすく置かれ、子ども達の好奇心や思考を伸ばしていく環境の工夫がなされていました。随所に先生方の工夫やアイデアが見られました。



参観後は、カンファレンス会議として、5才児のドキュメンテーションプレゼンをしていただき、幼児教育についてグループ討議を行いました。こども園、小学校、入江保育園、そして委員会の先生方が集まり、学びの多い研修会となりました。

次年度は小学校に入学する子ども達の様子やこども園での活動や取組を理解する事が出来てとてもよい研修会となりました。

「下地の子はみんなで育てる」を合い言葉に、幼小連携が深まった、学びの多い研修会となりました。下地こども園の5才児の皆さん、園の活動を見せてくれてありがとう。先生方、お忙し中、公開保育を催し学びの機会を作って下さり、ありがとうございました。



以前5才児の子ども達と、5年生と一緒に植えたバケツ稲です。すくすく育っていましたよ。